

若葉区里山サイクリング便り

冬の風物 (3)

～雪の後、台地の尾根を辿って泉自然公園へ～

2013/01/22

雪の後のサイクリング

雪が降ってから一週間経った。道端に少し雪が残っているとところもあるが、サイクリングに概ね支障ない。とは言うものの、小路や曲がりくねった道の日陰のところでは凍結している所もある。細心の注意が必要だ。シャーベット状になっているところへ突っ込まないように。凍っているところでは躊躇せずに自転車を降りて押して歩く。

雪の後路面の状況要注意

凍った所は降りて歩く

右の写真は、今回ご紹介する台地の尾根を辿るコースで通る場所である。車は少ない代わりに、雪が多く残っている。



雪の後の路面の状況
(野呂町、白井小学校の裏)

台地の尾根を辿って泉自然公園へ

今回は、台地の尾根（これを「流域界」という※注）を辿って泉自然公園へ行くルートをご紹介しよう。台地に降る雨水は小さな水の流れとなり、やがて川となる。大聖寺の辺りから泉自然公園までほぼ流域界に沿っている（西側の水は坂月川や都川へ、東側の水は鹿島川へ流れ込む。）。

※注『2011 印旛沼里山ウォーキングマップ Ver.2』（作成＝印旛沼流域水循環健全化会議、連絡先＝千葉県県土整備部河川環境課）に基づく。

【ルートの概要】 <若葉区役所>～若松町～<大聖寺>～<国道51号>～<御成街道>～小倉町～千城台北～千城台東～<御成公園>～県道53号～北谷津町～<泉高校>～高根町～<県道66号>～中田町～<国道126号>～野呂町～<白井小学校>～<泉自然公園>

【ご注意】 ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には、信号のある交差点を通るようにしています。しかし、すべてそうになっているとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。

大聖寺の前から国道51号の広い歩道を利用して御成街道へ向かう。国道51号が御成街道と交差する「若松町」交差点を右折し、御成街道を行く。

御成街道はそれほど広くはないが、道の両側に自転車と歩行者のためのスペースがあり、ガードレールで分離されている。植草学園の先、角にコンビニ（セブンイレブン）がある交差点を右折して、最初の小路を左折する。

四街道徳洲会病院の裏の小路を行く。病院のある側は四街道市吉岡、反対側は千城台東。



御成公園の東の端にある池
(千城台東、中央の奥の木立の所が提灯塚)

千城台東にある御成公園の傍らに行く。池の外れ、御成街道沿いの角にある提灯塚に寄り道するのもいいだろう。

千城台の住宅街を通り抜けて、「泉高校金親町入口」交差点で県道53号を渡ると右は大草町、左は北谷津町となる。北谷津町から高根町までの区間は林間の広い道路であり、快適なサイクリングが楽しめる。

話しをルートの説明に戻そう。千葉市北谷津清掃工場の煙突を左に見ながら「若葉いきいきプラザ前」交差点を過ぎ、泉高校の前を通り、高根団地を通り抜けると、県道66号に出る。信号のない三叉路である。県道を注意しながら

ら渡り、右折し、「宮田」交差点の手前の小路を左折する。

小路を進み、T字路を右折すると間もなく国道126号線に出る。右前方にコンビニ（セブンイレブン）が見える。国道を左折する。国道に沿って「高田インター入口」交差点まで行く。国道沿いのこの区間の歩道は自転車にとって走りやすいのでありがたい。

「高田インター入口」交差点を横断する。「千葉東金道路」の高田ICに通じる道は泉自然公園の正門への最短の道であるが、道幅が狭くなり、車が多い。

今回は流域界を辿るコースに行くために、国道126号を少し戻って野呂郵便局の脇道を左折する。

白井小学校の裏の小路を斜め右に折れて坂道を上り、台地の上の畑道を進む。広々とした畑の真ん中の道に来ると流域界であることを実感する。畑の中の道を真っ直ぐ進むと泉自然公園の外周のサイクリングコースにぶつかる。

ここから先はサイクリングコースを辿って行き、泉自然公園の正門に着く。



遠くに見える森は泉自然公園の森
(野呂町、白井小学校の奥の畑道)